

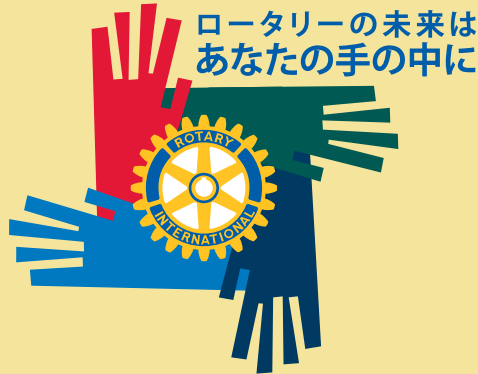


神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R I 会長 ジョン・ケニー



2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| ● 会長 | 河野 明光 | ● 会長エレクト | 横山 範夫 |
| ● 副会長 | 古川 陽太郎 | ● 副会長 | 石川 正三 |
| ● 幹事 | 山田 正憲 | ● 副幹事 | 飯田 泰之 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 副会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 月山 勇 | ● 副 S A A | 伊澤 政宏 |
| ● 副 S A A | 矢野 修二 | ● クラブ会報 | 森 永 健 |

●クラブテーマ「信頼」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第8号週報 No. 1614 2009年(平成21年) 8月28日 第1614回例会記録 9月4日発行

- 司 会** 飯田 泰之 副幹事
- 点 鐘** 河野 明光 会長
- 斉 唱** 「それでこそロータリー」
- 四つのテスト** 伊東 英紀 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

ゲスト紹介

- 近藤 欽司 様 (ゲストスピーカー)
- 横浜中RC 高田 弘久 君 (地区大会キャラバン隊)
- 横浜中RC 中澤 靖武 君 (地区大会キャラバン隊)

ビジター紹介 横浜港北RC 関 全男 君

会長報告 河野 明光 会長

- ・ 8月度定例理事会報告
- ・ ワンワールド・ワンピープル協会 鈴木一男代表より、当クラブからご依頼しておりました3基の井戸の完成報告を写真添付メールで頂戴致しましたので、次週の会報に掲載させていただきます。
- ・ ルーヤンRCの三堀様より、今年度のクラブ役員就任セレモニーを掲載した冊子が届いておりますので回覧致します。



・ 米山奨学会より石川正三会員へ「米山功労者第7回マルチプル」の感謝状が届きましたので会員にご報告申し上げ、贈呈させていただきます。

本日〈9月4日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献 立 鶏の赤ワイン煮込み
- ◆ 卓 話 「教育荒廃の本質」
戸塚ヨットスクール校長 戸塚 宏 様
(紹介者 天野 公史 会員)

幹事報告

山田 正憲 幹事

- ・地区大会の登録料を次週より例会受付にて集金致します。全員登録となりますのでご協力お願い致します。
登録料は10,000円となります。
- ・“第6回横浜東RAC例会の案内”が来ておりますので回覧します。
- ・地区RACより“アクトの日のご案内”が来ておりますので回覧します。 日時 9月5日(土)／6日(日)

◎例会変更のお知らせ

*横浜北ロータリークラブ

平成21年9月8日(火) 夜間移動例会 「野球観戦」

委員会報告

米山奨学委員会 委員長 江森 国一

昨日、地区のクラブ米山奨学委員長会議に、地区の委員を務められている伊東会員、天野会員とともに出席して参りました。その内容は、「ロータリー米山記念奨学事業について」の基調講演、地区米山奨学委員会の方針、DVD「心つないで、世界へ」の放映などです。クラブの米山奨学委員会の役割としては、米山記念奨学事業の理解推進、寄付の増進、米山奨学生・学友との接点の強化と交流、広報活動が挙げられていました。

我がクラブの米山奨学委員会といたしましては、10月の米山月間に曹莹さんの卓話を予定していますが、機会を見つけて米山記念奨学事業への理解推進に努め、ガバナー補佐訪問までに、地区の寄付目標である普通寄付5,000円、特別寄付20,000円以上を達成したいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ここで米山に関連してご紹介したい記事が、ロータリーの友8月号に掲載されておりました。それは当2590地区の学友で、地区学友会の機関誌「学友浜崎」の編集に携わり、広告掲載のお礼などに何度かクラブにも来られている田鎬鎮（ジョンホジン）さんの記事です。韓国出身の田鎬鎮さんは、米山記念奨学事業がかつて「月に煙草1箱を節約して」を合い言葉に募金を進めた話に感銘を受け、実際に禁煙して毎月1万円ずつ、米山奨学会へ寄付し、今年3月に累計40万円を達成し、その表彰式が5月30日に世話クラブの横浜鶴峰ロータリークラブで開かれ、板橋敏雄米山記念奨学会理事長から感謝状が贈られたそうです。田鎬鎮さんは、挨拶で「留学中の苦しい時期を支えてくれた日本人の親切さ、そしてロータリーの皆さんとの出会いが、親族の戦争体験がもたらした私の日本へのわだかまりを消してくれた。日韓でのビジネス展開を目標に、これからも両国の友好のために力を尽くします」と、感謝を込めて語ったとのこと。私にはとても真似のできないことで大変感銘を受けましたし、我々の米山奨学会に対する寄付が、確実に実を結んでいることが実感できました。会員の皆様には、地区学友会や田鎬鎮さんへの支援も引き続きお願いしたいと思っています。

出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	61名	(50+11)名	
出席会員数	47名	(39+8)名	
出席率	81.03%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	89.47%	前々回補正後	93.22%

スマイルボックス

伊澤 政宏 副SAA

横浜中RC 高田弘久君、中澤靖武君

本日は地区大会のPRに伺いました。よろしくお願ひします。

横浜港北RC 関 全男君

GSEのお願ひに参りました。よろしくお願ひ申し上げます。

河野明光君 近藤欽司様、本日の卓話をよろしくお願ひ致します。地区大会キャラバン隊でお越しの中澤地区幹事、及び高田さん、ようこそ！

青柳 紀君 中澤地区幹事、本日はご苦勞様です。地区大会の成功を祈念します。

山本 登君 本日も所用にて早退致します。

山田正憲君 中澤地区幹事、高田様、地区大会のキャラバン隊ご苦勞様です。

山本芳弘君 久しぶりの例会となりました。7日は誕生日祝を頂き、ありがとうございました。残暑厳しき折、皆様ご自愛下さいませ。

天野公史君 近藤監督、暑い中お忙しいところありがとうございます。卓話楽しみにしております。

脇田いすゞ君 眼鏡を作ったらだいぶ老眼が進んでいました。ショック！

森永 健君 積荷を落として行ったトラックあり。当社社員総出で片付けしていたところ、通りすがりの若い女性も手伝ってくれました。

茂木知子君 矢野さんのヘアスタイルについて、私のところのスタッフの評判「潔い」。普通はあれだけハゲていると色々なところから毛を持ってきて隠そうとするけど潔く見せている。

小山市康君 先週は誕生日祝ありがとうございます。入会後の早速で恐縮してしまいました。

伊澤政宏君 インフルエンザが大流行になって来ました。皆様気を付けましょう。テーブルマスターの方にお願ひ致します。テーブルミーティング計画をそろそろお願ひ致します。

8月28日	13件	36,000円
本年度累計		447,000円

卓話

『北京オリンピック、あれから1年思うこと
「叱る、ほめる、諭す」』

日本卓球協会 元全日本女子監督 近藤 欽司 様
(紹介者 天野 公史 会員)



クラブニュース

ワンワールド・ワンピープル協会 鈴木一男様からメールと写真が届きましたので紹介します。

神奈川県東ロータリークラブの皆様へ

8月1日到着以来、超ハードスケジュールで飛び回っています。

今年は20年に渡るスリランカでの活動の中で、初めて、こちらの大学との共同プログラムを実施したので、非常に気を遣いました。

初めて仏教がスリランカにもたらされた聖地、ミヒンタレーのラジャラッタ大学の“健康増進学科”との共同プログラムで村々でのフィールド・ワークを含め10日間、学生寮にも3晩泊まるなど、素晴らしい体験をしました。

また、両国大学生がパートナーを組んで村にホームステイ、井戸掘り作業も実施、炎天下で汗を流しました。

その後、今までに経験したことがないような極貧の村々やその子供が通う学校などを訪れたり、井戸の完成式を8か所で行いました。

No. 32～34までは、ロータリーの井戸が結構多いポロンナルワ県内です。

No. 32は、チャンダナボクラと言う村です。全くの農村で、90%が農家ですが、自分の田圃を持っている家族は少なく、繁忙期に農作業に雇われたり、乾燥期には日雇い労働に従事している村人が多いとのことでした。

3か所とも同じような環境で、水を汲みに今まで30分～45分以上かかるのが普通とのこと、神奈川県東ロータリークラブがもう30か所も井戸建設の支援を続けていると言うとすごい拍手でした。

近所にだいぶ前の井戸がまだきちんと使われていると言うので訪れたところ、No. 13の井戸で、奇縁にびっくりしました！！

フェリスの本は、一部これらの村の図書室に、日本の生徒達や横浜の紹介をしながら渡しました。

10月11日の件、有難うございます。学生も是非参加したいと言っています。

皆さんとお会いするのを楽しみにしております。



No. 32 井戸
チャンダナボクラ村

私は13歳、中学の時から卓球とかかわり今年で54年目になります。選手として10年、その後高校の指導者41年、インターハイ等選手と共に参加してきました。お陰さまでインターハイでは団体8回優勝、9回準優勝の成績を残しました。また1993年から世界選手権女子監督を仰せつかり、数々の国際大会の指揮をとらせて頂きました。世界選手権では、団体3個ダブルス1個の銅メダル、オリンピックはシドニーと北京の監督、北京では福原愛、平野早矢香、福岡春菜らと参加。皆良く頑張りましたが団体3位決定戦で韓国に敗れ4位でした。

それでは感動のオリンピックシーンをDVDで再現します。

2008年8月8日午後8時8分8秒、8が6ならび縁起を考えた開会式、花火と共にオープン、会場は10万人の大盛況、聖火が燃え上がった瞬間10万の観衆は一斉に喚起の歓声それは壮大なものでした。長い間まちこがれた中国人の喜びが一つになった瞬間でした。

大会前、我々は今までの経験を生かし、やり残すことのないよう色々な準備をしました。

北京の暑さや食事対策、体育館の空調、照明、大応援団、メディア対策等、それとプレッシャー対策です。選手も私も結果に対する不安や緊張がおのずと発生します。適度な緊張は必要ですが過緊張は食欲不振、体調不良につながります。卓球の試合はメンタル面が非常に競技に出ます。セルフコントロールが大変重要な競技です。自分と自分の対話や呼びかけで対応しました。

また私個人としては「運」を心の糧にお守りをいつも身につけて冷静沈着なアドバイスが出来るよう心がけました。

今卓球は追い風の競技で北京の卓球会場にも沢山のマスコミ関係者が来てくれました。特にテレビ東京は世界選手権等ライブで放送してくださいました。このことは卓球人としては大変な感謝でこれからも続くよう期待したいものであります。

また、私は長く高校生の部活での卓球指導を経験しました。夏のインターハイ目指しチーム作りに情熱を傾けてきました。高校生ですから勝利も大切ですが人間教育がさらに大切、私のモットーは「感謝の心、友達を思いやる心、我慢の心」を育てることでした。多感な年頃の高校生の指導で心がけたことは「言葉の力」を活用することでした。「褒める、叱る、諭す」時の言葉、場所、タイミングです。叱るときは人目の無いところ、小さい声で、最後の一言が大切、また翌日は私から挨拶や話しかけ、叱られたショックを和らげました。

言葉には魔法の言葉(やる気、元気、勇気、闘志が湧く)と悪魔の言葉(やる気を失う、心が暗くなる、不安や緊張が増す)があります。

私は指導は3つの術ではないかと思えます。話術・戦術・忍術です。自分の経験を若い選手に上手く伝えたいものです。

卓球のボールは直径は40mm、重さは2.75g、スマッシュのスピードは時速126km、秒速に直すと35m、試合中の心拍数は1分間で170～180回です。大変な過激のスポーツです。ある先輩が卓球競技は「100mを全力で走りチェスをするような競技」と言われました。

最後にスポーツの素晴らしさは競技を通じ達成感や勝利の喜びを感じることが出来ますが、一方で明るい社会作りにも貢献したいものです。その原点は「挨拶・返事・お礼」を皆が励行することです。家庭、職場、地域で心がけたいものです。



No. 33 井戸
ボロンナルワ県シャンティプラガマ村



写真を撮るときは太陽の向きや、周りの状況でボードを手を持ちたりして撮りますが、終了後は一番見えやすい所にコンクリ釘で打ちつけます。



No. 34 井戸
ボロンナルワ県ウエリアラガマ村



初めて汲んだ水をカメに溢れるまで水を入れていきます。



犬飼歯科医院 犬飼会員寄贈 井戸
昨年度1年間、犬飼歯科医院で収集した不要金属をリサイクル業者に委託し、集まったお金で井戸1基を6月に寄贈致しました。

【お知らせ】

今回、表紙の写真を変更しました。

『海拔2450mの室堂から撮った立山連峰“雄山”3003m山頂』
～小池会員より～

表紙の写真を募集しております。

写真送付・問合せは事務局まで < kerc@beach.ocn.ne.jp >

次回《9月11日》の卓話予定

テーマ「今時のリーダーに必要なもの」
生涯学習開発財団 認定コーチ 飯島淑香様